



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月3日

上場会社名 株式会社日本動物高度医療センター 上場取引所 東
コード番号 6039 URL http://www.jarmec.co.jp
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平尾 秀博
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 石川 隆行 TEL 044-850-1320
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	951	1.8	37	△71.9	33	△74.6	18	△79.4
2023年3月期第1四半期	934	29.9	134	51.0	131	44.1	87	39.4

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 18百万円 (△79.4%) 2023年3月期第1四半期 87百万円 (39.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	6.58	6.48
2023年3月期第1四半期	37.53	36.71

(注) 2023年3月期第2四半期において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2023年3月期第1四半期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直しは反映された後の数値を記載しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	8,446	3,726	44.1
2023年3月期	8,578	3,706	43.2

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 3,726百万円 2023年3月期 3,706百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2024年3月期	-	-	-	-	-
2024年3月期（予想）	-	0.00	-	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,140	6.9	555	△4.4	565	5.8	385	1.1	140.53

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 当社グループは年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期（累計）の連結業績予想の記載を省略しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料 6 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 有 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	2,836,200株	2023年3月期	2,836,200株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	95,616株	2023年3月期	101,116株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	2,736,630株	2023年3月期1Q	2,326,584株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料 2 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(会計上の見積りの変更)	6
(企業結合等関係)	6
3. 補足情報	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の分類引下げにより経済活動の正常化が進み、景気は緩やかに回復しました。鉱工業生産は、海外経済の減速に伴う輸出の低迷を受けて弱い動きとなった後、持ち直しました。個人消費は、外食・宿泊・娯楽などの対面型サービスを中心に回復しました。設備投資は、高水準の企業収益を背景に好調を維持しました。

当社グループが属する動物医療業界におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響でペットとの生活に癒しを求める動きが強まりました。全国動物病院数は増加を続けており、また、犬猫の高齢化に伴い疾病が多様化する中で飼い主の動物医療に対する多様化・高度化要請は高まってきております。

このような環境の中、当社グループは、飼い主のかかりつけ病院（一次診療施設）と連携して高度医療への取り組みを続けるとともに、当社グループ内の診療実績を発表するための学会報告を積極的に行うことにより、動物医療業界における信頼の獲得、認知度の向上と、それに伴う紹介症例数の増加に努めてまいりました。

最新機種への入替えのため川崎本院の放射線治療を4月～6月に休止したこと、眼科廃止に伴い新規患者の受入れを4月に停止したこと、二次診療施設の全国展開の一環として6月1日に診療開始した大阪病院の開院準備のため、既存病院の一部診療スタッフの稼働が低下したこと等、診療数減少要因はありましたが、診療オプションの多様化・高度化により増収となりました。

大阪病院につきましては、診療数が当初想定を上回るなど立ち上がりは順調であります。一方で開院に先立ち院内備品を購入するなど一時的な費用が発生しました。

将来の業容拡大に向けて、大阪病院の放射線治療施設の建設準備と、第5の二次診療施設となる新病院の物件選定を行いました。

その結果、二次診療サービスにおきましては、初診数（新規に受け入れた症例数）は1,866件（前年同期比2.1%減）、総診療数（初診数と再診数の合計）は6,580件（前年同期比6.4%減）、手術数は569件（前年同期比0.5%減）となりました。

画像診断サービスにおきましては、一次診療施設への営業活動強化により検査件数は増加しました。

健康管理機器レンタル・販売サービスにおきましては、代理店との関係強化施策を推進しました。レンタル数・販売数は横ばいとなりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は951,772千円（前年同期比1.8%増）、営業利益は37,710千円（前年同期比71.9%減）、経常利益は33,318千円（前年同期比74.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は18,017千円（前年同期比79.4%減）と増収減益となりましたが、減益は当初より想定していたものであり、その主な要因となった大阪病院開院時の費用は一時的に発生したものであります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は2,139,929千円となり、前連結会計年度末に比べ256,792千円減少いたしました。これは主に現金及び預金が179,731千円、未収還付消費税が61,294千円減少したことによるものであります。固定資産は6,306,809千円となり、前連結会計年度末に比べ124,635千円増加いたしました。これは主に大阪病院開院による工具、器具及び備品の取得によるものであります。

この結果、総資産は、8,446,739千円となり、前連結会計年度末に比べ132,157千円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は1,041,939千円となり、前連結会計年度末に比べ227,905千円減少いたしました。これは主に未払金の減少及び未払法人税等の支払いによるものであります。また、固定負債は3,678,003千円となり、前連結会計年度末に比べ74,989千円増加いたしました。これは主に長期借入金の借入及び返済によるものであります。

この結果、負債合計は、4,719,942千円となり、前連結会計年度末に比べ152,915千円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は3,726,796千円となり、前連結会計年度末に比べ20,758千円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の増加18,017千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、当第1四半期連結累計期間の業績を踏まえ検討した結果、2023年5月11日付「2023年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）」にて公表いたしました業績予想からの変更はありません。当第1四半期連結累計期間の減益は予定されていたものであり、通期での業績予想の変更は不要と判断しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,916,039	1,736,307
売掛金及び契約資産	263,369	249,757
商品	95,691	88,997
原材料及び貯蔵品	31,157	20,712
その他	100,080	54,207
貸倒引当金	△9,616	△10,053
流動資産合計	2,396,722	2,139,929
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,217,472	2,218,332
工具、器具及び備品(純額)	859,266	996,493
土地	2,248,337	2,248,337
その他(純額)	8,211	7,656
有形固定資産合計	5,333,288	5,470,820
無形固定資産		
のれん	183,328	178,236
商標権	391,917	381,031
その他	32,990	31,749
無形固定資産合計	608,236	591,017
投資その他の資産	240,649	244,972
固定資産合計	6,182,174	6,306,809
資産合計	8,578,896	8,446,739
負債の部		
流動負債		
買掛金	83,316	87,488
1年内返済予定の長期借入金	582,517	615,853
未払法人税等	149,073	29,862
賞与引当金	87,386	50,815
その他	367,551	257,919
流動負債合計	1,269,845	1,041,939
固定負債		
長期借入金	3,393,164	3,478,619
退職給付に係る負債	34,100	33,400
繰延税金負債	118,013	109,730
資産除去債務	40,944	41,056
その他	16,790	15,197
固定負債合計	3,603,013	3,678,003
負債合計	4,872,858	4,719,942
純資産の部		
株主資本		
資本金	791,100	791,100
資本剰余金	711,137	704,550
利益剰余金	2,375,457	2,393,465
自己株式	△171,656	△162,320
株主資本合計	3,706,038	3,726,796
純資産合計	3,706,038	3,726,796
負債純資産合計	8,578,896	8,446,739

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	934,812	951,772
売上原価	587,216	675,566
売上総利益	347,596	276,205
販売費及び一般管理費	213,460	238,495
営業利益	134,136	37,710
営業外収益		
受取家賃	5,840	5,840
保険解約返戻金	0	2,274
その他	947	2,243
営業外収益合計	6,788	10,358
営業外費用		
支払利息	4,521	4,586
資金調達費用	880	1,105
固定資産除却損	4,188	9,057
その他	62	—
営業外費用合計	9,652	14,749
経常利益	131,272	33,318
特別利益		
固定資産売却益	—	799
特別利益合計	—	799
税金等調整前四半期純利益	131,272	34,117
法人税等	43,951	16,100
四半期純利益	87,321	18,017
親会社株主に帰属する四半期純利益	87,321	18,017

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	87,321	18,017
四半期包括利益	87,321	18,017
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	87,321	18,017

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計上の見積りの変更)

(耐用年数の変更)

当社の工具、器具及び備品の耐用年数につきましては、法人税法に規定する方法と同一の基準によっておりましたが、大阪病院の開院準備を契機に、有形固定資産の使用実態の調査を行った結果、一部の工具、器具及び備品について耐用年数をより実態に即した経済的使用可能予測期間に基づく耐用年数に見直し、将来にわたって変更しております。

この変更に伴い、従来の耐用年数によった場合に比べ、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前当期純利益はそれぞれ13,234千円増加しております。

(企業結合等関係)

(比較情報における取得原価の当初配分額の重要な見直し)

2022年3月18日に行われたテルコム株式会社との企業結合について、前第1四半期連結会計期間において暫定的な会計処理を行っておりましたが、前第2四半期連結会計期間に確定しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、当第1四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の当初配分額に重要な見直しが反映されております。

なお、前第1四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書へ与える影響は軽微であります。

3. 補足説明

当社グループは、動物医療関係事業の単一セグメントであります。つきましては、補足情報として、主要な売上の区分についての販売実績を下記の通り開示いたします。

(単位：千円・%)

	前第1四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)		当第1四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	
	売上高	構成比	売上高	構成比
二次診療サービス	626,160	67.0	635,189	66.7
画像診断サービス	112,134	12.0	123,965	13.0
健康管理機器レンタル・販売サービス	193,763	20.7	190,988	20.1
その他	2,755	0.3	1,629	0.2
顧客との契約から生じる収益	934,812	100.0	951,772	100.0
外部顧客への売上高	934,812	100.0	951,772	100.0

(注) グループ間の取引については相殺消去しております。